DERWENT-ACC-NO:

1975-14923W

DERWENT-WEEK:

197509

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Wire-rubber reinforcement adhesive - metal

wire is

plated with brass, copper or zinc and coated

with synth.

resin

PATENT-ASSIGNEE: KANAI JUYO KOGYO KK[KANAN]

PRIORITY-DATA: 1972JP-0103736 (October 17, 1972)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO PUB-DATE LANGUAGE

PAGES MAIN-IPC

JP 49060382 A June 12, 1974 N/A

000 N/A

JP 78014114 B May 15, 1978 N/A

000 N/A

INT-CL (IPC): B29H009/08, B32B015/06, C09J005/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 49060382A

BASIC-ABSTRACT:

A <u>metal wire</u> is plated with <u>brass</u>, Cu, or Zn and coated with a synthetic resin

having soly. parameter differing <=1 from that of the <pre>rubber to be reinforced

and mol. wt 1000-30,000 to improve the wire-rubber adhesion. In an example, a

1.8-mm diam. wire was plated with 6:4 Cu-Zn, coated with a soln. of 1:1

ethylene-vinyl acetate copolymer (I) of mol. wt. 9000 and soly parameter 8.65,

heated for 1 min. at 100 degrees, and heated for 30 min. in a rubber
stock of

SBR (25% styrene units) 100, ZnO 5, carbon black 50, S 2, and vulcanization

catalyst 1.5 parts. The <u>wire-rubber</u> adhesion was 84.6 kg/Cm2 for similar <u>wire</u> without (I) coating.

TITLE-TERMS: WIRE RUBBER REINFORCED ADHESIVE METAL WIRE PLATE BRASS COPPER ZINC

COATING RESIN

DERWENT-CLASS: A18 A35 A60 P73

CPI-CODES: A08-M01; A08-R05; A11-B05;

POLYMER-MULTIPUNCH-CODES-AND-KEY-SERIALS:

Multipunch Codes: 012 03& 032 034 04- 041 046 047 055 056 066 067 117

122 231

27& 303 308 309 311 359 444 446 473 477 532 537 575 583 589 597 600

609 654 722



19 日本国特許庁

公開特許公報

①特開昭

49 - 60382

43公開日

昭49.(1974) 6. 12

21)特願昭

47-103736

22出願日

昭47.(1972) 10.11

審查請求

未請求

(全3頁)

庁内整理番号

62日本分類

7166 37

25(9)B41

発明の名称

7年10月17日

47 103736

で接触している。

合成繊維は耐熱性がないためタイヤに した場合。タイヤと路面との屋舗熱によっ 。ガラス被離社展曲に対しモロイル 亜鉛菓子との反応が起こりにくく、又メ

特開 昭49—60382之

め、ノッキ要面を腐らしにくいため、ゴム中のイオクとノッキの網裏は亜鉛原子との反形が起こりにくいという欠点がある。これらの欠点のため、加値後金属線をゴム場からはぎ取った場合全然ゴムが金属線に接着していかいという現象が起こっていた。

上記の様に接着が不十分のため。 としての備きをしていない。

これらの欠点を解決するために従来は、ゴムに粘着性を与えるために、ゴムの寒線り工程で粘着剤を配合し、ゴム全体に粘着性を与えなゴムと体に粘着性を与えなが、これないの方に値られた金属型面をサイクに値らられためのがあるため、メッキ要面以外の部分のゴムの性質があるためはメッキ要面以外の部分のゴムの性質があるためにメウンを表面に必要な粘着剤は使用されているために必要な粘着剤は使用されてなされたもの本発明は上配欠点をカイナためになるためになるためになるためになるないでは、ガールのでは、オールのでは、ガー

以下、本発申を実施例にもとずいて説明する。 メッキ 参加に宝温では安定でかつ加値時に50 ~150 で存储し、前配存储した液の数平均 分子量が1千~3万で8 P値(将解性パラメー タ)がゴムの8 P値に対して 1. 1 を有する合成 樹脂を真鍮メッキ、銅メッキ 取いは亜鉛メッキ

であり、メッキされた会員最要面の近くのゴム

だけに粘着性を与えることを目的としたもので

樹脂を真確メッキ。網ノッキ扱いは更近メッキ を応された金属雑芸面に被優することによりゴ ム帯強用金属線を得るものである。

でで加強されるため、ノッキされた金銭線要面に被復した合成側面が幕艦し、その路機液の数平均分子量が1千~1万であるため溶験液はゴム分子間に浸透し、解重合を起させしめて、メッキ表面に近いゴムに粘着性が与えられる。 そのためゴムと金属線は強調に結合する。

この場合、数平均分子量が8万以上の場合は務

機液の粘度が非常に高い。ためにゴム分子間に 毛刷管理象により浸透しにくく。又1千以下の場合は高分子の被優を形成しない。 以下本発用の金属線と従来の金属線を用いて接

1) 被補強用ゴム(日P値:計算値 8.1) 日 B R (ブラジエン・スチレン(75/85)

ポリマー) 100部

2 n 0 5 8

カーボンプラック 50 包

de la Carlo ACT Marchael

2) to 68 68 84 1 2 0 7 × 2 0 44

8) 補 強 材 1.8⁴

、化木の食具味

真端メッキ金属級 (Cu: Zn = 6:4)

b. 本発明の金属級

をエチビンー的酸ビデル共富合体(数平均)





4) 松瀬テスト納根

各面数	従来の(a)の場 台の接着力 (写在 ^a)	本発明の(b)の 場合の接着力 (なん*)
_1	6 0	8 0
2	4 7	8 \$
8	4.5	8 8
4	8 B	8 5
	. 6 0	8.6
平均	6.3	8 4 . 6

接着デストの結果より制る自ぐ。本幾明の場合は189~159世末よりも接着力が増加する 又本発明によれば接着力が増加するばかりでを くいメッキ後保管される前にメッキ表面に高分



- 5.-.

子被膜を形成さすためノッキ自体が更質したり 下端が終びたりすることがないなどすぐれた効 場を有するものである。 特別 第49-603823)
5 影射音類の目前
(1)、明 相 書 1 前
(2) (2) (4) 委 任 秋 1 前

有以

一字的

代理人の氏名

-491-